

甲州事編百科涼覧

2017 甲府ウィキペディア・エディタソン



7月
23日
10時-18時

ベテランウィキペディアンが甲府で知の共演！
図書館資料を駆使して新たなページを生み出す、その瞬間を一緒に見届けよう！

会場



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

【タイトルロゴ】 design by Arika Honoka 【ポスター】 design by [[User:Arasyohe]] in Japanese Wikipedia
【写真】 File: 建設中の山梨県立図書館.JPG in Wikimedia Commons / Photo by Kaidog / CC-by-sa-3.0

観覧定員

10名 要事前申込 展示ポスターは閲覧自由

申込 問合せ

wpedit.kofu2017@gmail.com

詳細情報

“甲州事編百科涼覧”で検索！



主催 2017 甲府ウィキペディア・エディタソン実行委員会

共催 山梨県立図書館 都留文科大学日向研究室

後援 Wikimedia Foundation

ロゴデザイン協力 尾道市立大学高岡研究室

本エディタソンは、ウィキメディアファウンデーションより
Rapid Grant をいただき開催しております



ウィキペディアをいつも見ているそこのあなた！
そのページがどうやって作られているのか知りたくありませんか？

甲州事編 百科涼覧とは？ [編集]

(ラーコモラボ通信第 71 号寄稿「～甲府にウィキペディアンが集結する～2017 甲府ウィキペディア・エディタソン『甲州事編 百科涼覧』に向けて」(日向良和)から抜粋) <http://www.mag2.com/m/0001260410.html>

趣旨 [編集]

フィールドワークと、図書館・博物館等にある地域資料を利用して、地域に関するウィキペディア記事を作成・編集する「ウィキペディア・タウン」というイベントが全国で開催されています。しかし、「ウィキペディア」の記事を作成するための編集技法について、一般的なテキストはウェブ上にありますが、個人個人で編集していくウィキペディアの特性上、他の人の編集を見る機会はほとんどありませんでした。

本イベントはウィキペディアンの日下九八氏が 3 月に Facebook にしたエントリーが直接のきっかけでした。“「書ける」ウィキペディアンによるエディットソンしなきゃって思いを強くしつつある。ひたすらに書くて方向で一度。作業の邪魔にならないように観察 OK で、ウィキペディアタウンみたいな流れで、街歩きして図書館の資料使って制限時間内にどれくらい書けるかってのを一度。”

日下氏は、経験のあるウィキペディアンがフィールドワークをする際にはどんな視点や粒度で対象を見るのか、記事編集の際にどう資料と向き合うか、そこに書かれている情報をどう取捨選択していくのか、記事にどう書き直していくのかなどの一般的なウィキペディア編集を見る機会の必要性を感じていました。

“ああ、こういうふうに通くんだ、こういうことに目を向けて、こういう資料の探し方をして、こういう分担をするんだってわかる。ウィキペディアのほうへのフィードバックにもなる。”

ウィキペディア・タウンのようにグループで一つのテーマを編集することは、ウィキペディアの編集方法で一般的なものではなく、多くは一人で自宅や図書館などで調査をして編集します。経験のあるウィキペディアンでも、グループで編集作業をすることはほとんどありませんでした。

また、ウィキペディアンがウィキペディアタウンを手伝うときは、自分で調べて書くのではなく、サポートに徹することがほとんどです。調査・編集作業の分担や、資料探索、情報選択の差異、調査した情報を記事に落とし込む際の書き方など、ウィキペディアン同士でも参考となる機会と日下氏は考えています。

今回のイベントは「ウィキペディア・タウン」ですが、参加者が編集をするウィキペディア・タウンではありません。ウィキペディアンの記事編集を、資料の選択から記事の文章までのプロセスを余すところなく「観覧」するエディタソンです。

スケジュール [編集]

10 時～テーマ発表・編集スタート(10 時～17 時まではウィキペディアンの編集を観覧します)

17 時～編集終了・意見交換・質疑

18 時 終了

